

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|--|---|------------------|---|-----|--------|---------|
| 32106 | Access応用演習 Advanced Skills for Access | 今泉充啓 | | 専門 | 1 | 選択 | 1・2後期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| この応用演習では、Access基礎演習で学んだ「テーブル」「リレーションシップ」「クエリ」「フォーム」「レポート」をさらにステップアップした機能・操作の習得をします。高度な機能を使って効率よく作業をするための操作方法を身に付け、実用的なデータベースを構築する方法を学びます。また実習時間を多く確保しますので、より理解を深めることができます。この授業では情報社会で活用できるデータベースシステムの構築する力を身につけ、課題解決のために努力する姿勢pisa型学力を養っていきます。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① アナログとデジタルのデータベースについて理解する。 ② Access2019の応用機能「アクションクエリ」について理解する。 ③ Access2019の応用機能「メイン・サブフォーム」について理解する。 ④ Access2019の応用機能「メイン・サブレポート」について理解する。 ⑤ Access2019の応用機能「様々な関数」について理解する。 | | | | ① 実用的なデータベースの構造について理解し、構築することができる。 ② 「アクションクエリ」について理解し、作成することができる。 ③ 「メイン・サブフォーム」について理解し、作成することができる。 ④ 「メイン・サブレポート」について理解し、作成することができる。 ⑤ 「様々な関数」について理解し、様々な場面で利用することができる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 授業以外の時間を使い、応用機能「アクションクエリ」「メイン・サブフォーム」「メイン・サブレポート」、様々な関数の使用をスムーズに行えるよう努力を惜しまず取り組む。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 授業以外の時間を使い、授業で学んだAccessの応用機能「アクションクエリ」「メイン・サブフォーム」「メイン・サブレポート」、様々な関数の使用を繰り返し粘り強く練習する。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 情報を客観的に整理し、入力ミスや記入間違いなどの問題を見極め取り組む。 | | | | | |
| | 計画力 | 情報社会の中でのデータベース活用を理解し、効率のよい情報管理（整理、収集、処理）を考え、構築を進めることができる。 | | | | | |
| | 創造力 | Accessの応用機能の中で、自分が不得意とする機能について、どのようにすれば習得できるか自分に適した方法を考え実践してみる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 理解度を確認するため、「練習問題」を行うので、操作説明をよく聞き、理解できないところは積極的に質問し解決する。理解できるまで取り組む姿勢を持つ。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 教員の説明を聞かずに、自分の解釈で勝手に先に進まないよう、しっかり説明を聞き、メモを取りながら受講する。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| テキスト：「よくわかる Microsoft Access2019応用」（FOM出版） 参考文献：なし | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他の科目との関連：「Access 基礎演習」 資格との関連：情報処理士、ウェブデザイン実務士 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| 応用的な操作だけではなく、基礎で学んだことを復習しながら授業を進行する。Access基礎演習を受講し、単位を取得しており、Accessの基本操作ができることが前提となる。事後学修として授業で学んだ操作を反復練習するとよい。 | | | | 演習授業であるので欠席せず、スキルを積み上げていくことが必要。解らないことは、その都度担当教員へ質問する。基礎演習と比べ難易度が高くなるため、演習問題を真剣に取り組むこと。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---|--|---|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | <ul style="list-style-type: none"> 授業内で、Access2019の応用機能が理解できているか確認する為の実技小テストを行なう。 基本的に、総合演習問題の中から出題する。 | |
| | | | | ② | | | |
| | | | | ③ | | | |
| | | | | ④ | | | |
| | | | | ⑤ | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 30 | ① | | |
| | | | | | ② | | ✓ |
| | | | | | ③ | | ✓ |
| | | | | | ④ | | ✓ |
| | | | | | ⑤ | | ✓ |
| | | レポート | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| | | | | | ③ | | |
| | | | | | ④ | | |
| | | | | | ⑤ | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 60 | ① | | | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | ⑤ | ✓ | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | <ul style="list-style-type: none"> データベースについて学ぶ姿勢や、Access2019を習得する為に必要となる、データの正確な扱いができるかを評価する。 （主体性）授業以外の時間を使い、応用機能や様々な関数の利用をスムーズに行えるよう取り組むことができる。 （実行力）授業以外の時間を使い、応用機能や様々な関数の利用を繰り返し練習することができる。 （課題発見力）情報を客観的に整理し、入力ミスや記入間違いなどの問題を見極め取り組むことができる。 （計画力）効率のよい情報管理（整理、収集、処理）を考え、データベースの構築を進めることができる。 （創造力）自分が不得意とする操作について、どのようにすれば修得できるか自分に適した方法を考え、実践することができる。 （発信力）理解できないところは、積極的に質問し解決することができる。 （傾聴力）しっかり説明を聞き、メモを取りながら受講することができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 | | |
| | | | ② | ✓ | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | |
| | | | ⑤ | ✓ | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>S(秀)：指定した基本機能すべての練習問題が提出され、 出題した練習問題にも自主的に取り組み、授業内容を理解した上で、目的に応じた操作をスムーズに行い制作することができる。</p> <p>A(優)：指定した基本機能すべての練習問題が提出された上で、出題した練習問題にも自主的に取り組み、それぞれが一定のクオリティを保って制作できていること。</p> | <p>B(良)：指定した基本機能すべての練習問題が提出され、それぞれが一定のクオリティを保って制作できていること。</p> <p>C(可)：指定した基本機能すべての練習問題が提出されおり、理解するために授業に取り組むことができている。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|---------------------------------------|--|---|-------|--------------------------|
| 1 | はじめに 授業の進め方/Access の基本操作の復習。 | 講義演習 | 授業の進め方について 理解する。基礎の内容 が理解できている。 | (予習) Accessの基礎 機能について予習して おく。 | 90 | 課題発 見力 傾聴力 規律性 |
| 2 | テーブルの活用/ フィールドプロパティ の設定、テーブルの活 用について理解する/ 演習問題に取り組むこ とで理解を深める。 | 演習 フィードバック： 適時、演習の内容につ いて解説。 | フィールドプロパティ の設定、テーブルの活 用について理解でき ること。 | (予習) Accessの基本 的な構造について予習 しておく。 | 90 | 主体性 計画力 |
| 3 | リレーションシップの 参照整合性 リレーションシップの 設定、参照整合性につ いて理解する/演習問 題に取り組むことで理 解を深める。 | 演習 フィードバック： 適時、演習の内容につ いて解説。 | リレーションシップの 設定、参照整合性につ いて理解し、設定す ることができる。 | (予習) リレーシ ョンシップの設定・構 造について予習して おく。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 4 | クエリの活用 様々な関数の利用、ク エリのフィールドプロ パティの設定などに ついて理解する/演習 問題に取り組むことで 理解を深める。 | 演習 フィードバック： 適時、演習の内容につ いて解説。 | 様々な関数の利用、ク エリのフィールドプロ パティの設定などに ついて理解できる。 | (予習) 様々な関数、 クエリのフィールド プロパティの設定につ いて予習しておく。 | 90 | 主体性 計画力 発信力 |
| 5 | アクションクエリの作 成(1) アクションクエリ、不 一致クエリの構造につ いて/ノーマルなクエ リとの違いについて理 解する。 | 演習 | アクションクエリの作 成、不一致クエリの構 造、ノーマルなクエリ との扱い方について理 解し、作成することが できる。 | (予習) 普通のクエリ とアクションクエリの 構造の違いをより理 解するために復習して おく。 | 90 | 主体性 計画力 |
| 6 | アクションクエリの作 成(2) 演習問題(前回の内容 を踏まえ、クエリの作 成の練習問題に取 り組むとこと で理解する) | 演習 フィードバック： 適時、演習の内容につ いて解説。 | アクションクエリの作 成についての演習問 題をこなし、内容につ いて理解できる。 | (復習) アクシ ョンクエリの作成につ いて演習 問題ができなかった場 合、各自で進める。 | 90 | 主体性 計画力 創造力 発信力 |
| 7 | フォームの活用(1) コントロールの作成、 データの入力順序の設 定を理解し、フォーム 活用の基礎を身につ ける。 | 演習 | コントロールの作成、 データの入力順序の設 定を理解し、作成や設 定ができるようになる。 | (復習) フォ ームを作成 する際に注意する点 を復習し、次回の演 習問題に備える。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 8 | フォームの活用(2) 演習問題(前回の内容 を踏まえ、フォーム活 用の作成を含む練習 問題に取り組むとこ で理解する) | 演習 フィードバック： 適時、演習の内容につ いて解説。 | フォーム活用の作成を 練習問題に取り組む ことで理解できる。 | (復習) フォ ームの活用 について演習問題が できなかった場合、各 自で進める。 | 90 | 主体性 計画力 創造力 発信力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|-------------------------------|---|--|-------|--------------------------|
| 9 | メイン・サブフォームの作成(1) メイン・サブフォームの作成、関数の利用について学び、ノーマルなフォームの違いについて理解する。 | 演習 | メイン・サブフォームの作成が理解でき、様々な関数が利用できる。 | (復習)メイン・サブフォームについて復習し、次回の演習問題に備える。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 10 | メイン・サブフォームの作成(2) 演習問題(前回の内容を踏まえ、フォーム活用)の作成を含む練習問題に取り組むとこととで理解する) | 演習 フィードバック：適時、演習の内容について解説。 | メイン・サブフォームの作成を練習問題に取り組むことで理解し、構築できるようになる。 | (復習)メイン・サブフォームの作成について演習問題ができなかった場合、各自で進める。 | 90 | 主体性 計画力 創造力 発信力 |
| 11 | メイン・サブレポートの作成(1) メイン・サブレポートの作成、関数の利用について学び、ノーマルなレポートとの違いを理解する。 | 演習 | メイン・サブフォームの作成、関数の利用について理解できる。 | (復習)メイン・サブレポートや印刷について復習し、次回の演習問題に備える。 | 90 | 主体性 実行力 |
| 12 | メイン・サブレポートの作成(2) 演習問題(前回の内容を踏まえ、フォーム活用)の作成を含む練習問題に取り組むとこととで理解する) | 演習 フィードバック：適時、演習の内容について解説。 | メイン・サブレポートの作成を練習問題に取り組むことで理解し、構築できるようになる。 | (復習)メイン・サブレポートの作成について演習問題ができなかった場合、各自で進める。 | 90 | 主体性 計画力 創造力 発信力 |
| 13 | レポートの活用・便利機能 集計行のあるレポートの作成、累計の設定、表紙の作成について理解する/演習問題に取り組む。/Accessの構築・管理するうえで便利な機能を身につける。 | 演習 フィードバック：適時、演習の内容について解説。 | 集計行のあるレポートの作成、累計の設定、表紙の作成について理解し、構築することができる。 | (復習)集計行のあるレポートの作成について復習する。(参考書～P233) | 90 | 主体性 実行力 |
| 14 | 総合問題(1)(2) ここまで取り組んできたAccess応用のアクションクエリ制作などの総合演習問題に取り組む理解を深める。 | 演習 授業全体に対するフィードバックを行う。 | Access応用で学んだ主要な内容、アクションクエリ作成など、問題をときながら理解できる。 | (予習)これまで取り組んできた内容を復習する。(参考書～P265) (復習)授業内で演習問題ができなかった場合、各自で進める。 | 90 | 主体性 実行力 計画力 発信力 |
| 15 | Access応用の授業内容の総括 / 小テストを行う | 講義演習 小テスト | 総合演習問題、小テストに取り組みAccess2016で必要な応用機能を理解し、データベースを構築することができる。 | (予習)小テストのために授業で学んだこれまでの内容を総復習する。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力